



創る改革

ワンランク上のとよなかへ



とよなか市民連合の 夢みらいビジョン

政策のコンセプト 創る改革の“シンカ”

～ワンランク上をめざしさらなる発展・成長へ～

やめる、こわすだけの改革では未来につながりません。今を未来につなげるため、変化を生み出し、価値をつくり上げていく、それが私たちの進める創る改革です。創る改革においても、取組みの過程においては、様々な軋轢や波紋が生じることもあります。しかしながら、そうした軋轢や波紋はまさに生みの苦しみであり、改革の目的のみならず **改革の先にあるもの(創り上げようとするもの)** をしっかりとみなさんと共有することで、乗り越えていくことができます。

さらなる豊中の発展・成長に向け、**ワンランク上をめざし、ぶれることなく創る改革をシンカ**させていく。これが私たちの基本理念です。

1 取組みをさらに進化 (変化)させます



2 取組みをさらに深化 (バージョンアップ)させます



3 取組みの真価 (新たな価値)を提供します



子どもたちの笑顔あふれる未来のために 大好きな豊中の未来のために みんなの笑顔のために 元気いっぱいの豊中をつくりたい。

この想いが私たちの活動の原動力です。

先人から受け継いできた素晴らしい豊中のまちは、いつも「人」が中心であり、財産となっています。

お一人おひとりの個性と、それらが織りなす多様性を大切に、これまでの取組みで積み上げてきた実績を土台として、みなさんと一緒に幸せいっぱいの未来を切り拓いていきます。

夢みらいビジョン 3

- 01 子ども・若者・子育てを応援するまちへ 4
- 02 憩い・潤いで満たされるまちへ 5
- 03 誰もが自分らしくいきいきと過ごせるまちへ 6
- 04 誇りと愛着のもてるまちへ 7
- 05 市民サービスをレベルアップ 8

前へ進む、豊中。 9

これまでの主な取組み 12

市民連合の活動

豊中の自治を守り市政の安定と未来を創るとともに、地域社会の発展と市民生活の安全・安心の確立と向上の実現に向け、政策の研究及び実践活動を図ることを目的として設立した組織です。

日常的に政策研究や政策懇談会など、会員有志が進めています。



夢みらい 5つのビジョン

ワンランク上の豊中らしいまちづくり これまでの取組みをもとに、5つの政策を柱とします。



01

子ども・若者・子育てを応援するまちへ

子ども・教育政策



02

憩い・潤いで満たされるまちへ

まちづくり政策



03

誰もが自分らしくいきいきと過ごせるまちへ

防災・健康・共生政策



04

誇りと愛着のもてるまちへ

都市魅力・活力向上政策



05

市民サービスをレベルアップ

経営改革



私たちは、長内繁樹豊中市長に

夢みらい 5つのビジョン

の実現を求めます。

01 子ども・若者・子育てを 応援するまちへ

子ども・教育政策



子ども・若者が将来に夢と希望を抱く。子育て家庭は、ゆとりをもって安心して子育てができる。そんなまちに向けて、“こどもまんなか”で、子ども・若者と保護者の子育てを徹底サポートします。

子育てを経済面で徹底サポート (※原則、所得制限なし)

- 中学校給食費を無償化し豊中版教育無償化をさらに推進
- 0～2歳保育料の完全無償化
- 中学生の習い事などを助成
- 妊産婦タクシー助成
- 無痛分娩費用を助成

もっと子育てしやすい環境づくり

- 放課後の学校をまるごと新たなスタイルの児童館に[安全・安心な居場所を]
- こども園にお昼寝コートを用意し、保護者はてぶらで登園[おふとんの運搬なし]
- 子どもが天候にかかわらず思いっきり遊べる公園・施設づくり
- AI子育て相談アプリ(いつでもどこでも気軽に相談を)を導入
- 千里コラボにほっぺ分室設置

すべての子どもの学びへのアクセスを確保

- 学びの多様化学校(不登校特例校)および不登校支援センターを開設
- フリースクール利用助成

子どもたちの学びの環境を整備

- 老朽化した学校を計画的に建替え
- 小学校での教科担任制を拡大・学校の水泳授業を民間プールで実施
- グローバル人材を育むトップレベルの英語教育[AET全校常駐配置など]
- 外部人材による最先端のAI／デジタル教育
- 市立学校で豊中ふるさと教育を実施

未来の豊中を担う若者の活躍をサポート (若者との共創事業など)

- 若者チャレンジ応援事業[若者の公益活動の支援、市政参画を促進]
- 大学等の奨学金返還を支援[働く若者の応援]

02 憩い・潤いで 満たされるまちへ

まちづくり政策



外出することがワクワクする。公園や市の施設では、いろいろな世代の人が憩い、集い交流する。そんなまちに向けて豊中の無形資産ともいえる上質な生活空間・環境をもっとバージョンアップしていきます。

とよなかの“売り”となる拠点づくり

- 官民連携で新しい“せんちゅう”を[都会のオアシス空間となる公園整備、商業・ホテル・オフィスなど多様な機能を誘致]
- 東西軸の核となる曾根駅周辺エリアを文化・健康ゾーンとしてバージョンアップ[豊島公園を大幅リニューアル、プロムナード(駅～公園)・そね坂通り・「中央図書館×シン・児童館」の整備、まちづくり構想の策定など]
- 南部地域のインフラ整備[三国塚口線の山手幹線への接続、神崎川駅の橋上化と周辺整備、学校跡地の活用、庄内駅周辺エリアの整備など]
- 服部天神駅前の安全対策ほか、各駅を拠点とした魅力向上の取組みを推進

より便利に快適に外出をサポート

- 全自動のEVバス走行を官民連携で実現
- 乗合タクシー「みなのもつて」を坂道の多い地域にも展開するなど公共交通を充実

みんなが憩える空間づくり

- 中央図書館を核とした本のあるまちづくりを推進
- みんなの憩いの場として公園を大改革[魅力ある遊具整備、カフェ誘致、ボールパーク(小学校区にひとつ)、上質な空間づくりなど]
- 官民連携で歩道やオープンスペースに潤いを[パークレット、花いっぱい大作戦など]

環境にやさしいまちづくり

- 官民連携で脱炭素社会を実現[ペロブスカイトなど次世代型太陽電池の導入、家庭の廃食油を回収し航空燃料(SAF)製造など]
- 路上喫煙禁止の強化と分煙環境の整備

03 誰もが自分らしく いきいきと過ごせるまちへ

防災・健康・共生政策



年齢に関係なく、障害のある人もない人もみんなが“違い”をお互いに尊重し合い、活躍できる。住み慣れた地域で安心して生活を送ることができる。そんなまちに向けて、市民のみなさんの暮らしを徹底サポートします。

南海トラフ大地震や豪雨など災害への備えを強化

- 生活インフラ・防災対策の強化[上下水道の耐震化、避難所の環境改善・機能向上、自主防災の取組み支援、災害備蓄の強化、防災DXの推進など]
- 安否確認のデジタル化、避難に支援が必要な方を個別サポートするしくみを強化
- 災害時の司令塔となる危機管理センターを整備

幸福の源となる健康をサポート

- 個々の健診や予防接種のデータを活かした健康づくり
- ヒアリングフレイル対策(「聴こえ」を支援)の強化[加齢性難聴に対する補聴器購入費用助成など]
- HPVワクチンの男性接種費用を助成
- 専門機関・保健所による医療・科学的な視点で介護予防をサポート
- 豊中病院を阪大病院・国循に次ぐ圏域第3の核となる高度医療機関に[がん診療・救急充実など]

安心安全のつながり・居場所づくり

- 赤ちゃんからお年寄りまでみんなが集える地域交流の場を創設[公共施設をリニューアル]
- ボランティア参加・支えあいを促進するしくみづくり[マチカネポイント付与など]
- コミュニティ政策の深化[担い手の負担軽減、地域大会議、福祉課題解決、地域団体との共創強化など]

お一人おひとりの状況に合わせたサポート

- 学び・つながりなど高齢者の元気をサポート[学びの機会・同好会支援、アプリ導入など]
- 子育て中の方やシニア人材がキャリアを活かし柔軟な働き方ができる環境を整備[企業とのマッチングをデジタルで支援]
- シングルマザー・ファザーのサポート充実
- 女性活躍をサポートする取組みを強化
- お一人暮らし高齢者のペットの一時預かりなどを支援
- 不妊治療のサポート充実

04 誇りと愛着のもてる まちへ



都市魅力・活力向上政策

この豊中をより良い形で未来につないでいく。これが今を生きる私たちの責任です。みんなが豊中に・住んでいる地域に誇りと愛着をもって生活する。そんなまちに向けて、豊中の素晴らしい人・まちなみ・文化・歴史・産業・活動などを発展・成長の礎としてさらに活かします。

豊中に活力を呼び込む・生み出す

- プロ・スポーツチームを誘致 [学校跡地などを活用]
- 日本センチュリー交響楽団をはじめまちぐるみで音楽・文化を
- 豊中の魅力・政策に共感する情報発信 [SNS・動画配信の強化]
- 営業・広報専門官を配置 [豊中を内外に売り込み、投資財源確保]
- 豊中つばさ公園『ma-zika』を起点とした観光呼び込み
- 思いっきり体を動かすことができるスポーツ環境を整備 [学校跡地の活用など]
- 教育×企業×デジタルによる豊中発イノベーションの創出・循環 [外部人材による学校での最先端デジタル教育、デジタル関連企業の支援、学びと起業・イノベーションのつながり・好循環を生み出す仕組みづくりなど]
- 魅力・活力の視点でハード・ソフト両面から政策を推進

強い地方経済基盤をつくる

- 産官学連携でスタートアップや起業をサポート
- 企業を呼び込むしかけづくり [千里中央にビジネスサポート拠点を]
- ふるさと納税制度を活かした地域経済の活性化
- 地域特性を活かした企業や民間サービス誘致 [ホテル・子育てサービス・スタートアップ等]
- 女性のさらなる活躍をサポートする取組みを強化 [企業とのマッチングを支援]

住まうことが誇りのまちづくり

- 豊中にゆかりのある企業等との共創を促進
- 豊中の魅力を全国に [豊中大使を任命]
- 地域資源を活かし、地域での学びと活動の循環を向上
- 大阪国際空港をもっと便利に [長距離便の増便、国際線チャーター便運航など]

05 市民サービスを レベルアップ

経営改革



地域に足を運び、「まち」と「暮らし」の課題・変化を感じ取り、個々に最適な支援、地域の特色に応じたまちづくりを進めなければなりません。変化と多様性に富んだ社会にあわせ、市役所の仕事・サービスをスピード感をもって変えていきます。

市民起点でサービスをより良いものへ

- 窓口サービスのレベルアップ[書かない窓口、市役所に行かなくともよい窓口など便利・快適を向上]
- お亡くなりになられた方の手続きをワンストップで行う「おくやみ窓口」を設置
- 共感を得る都市経営を進めるためマーケティング組織を新設
- ご寄附により施策の応援をいただけるようなしくみを構築
- デジタルを活かした市政参画・意見表明のしくみを構築[アプリ開発・導入]

井の中の蛙にはならない組織運営

- 民間企業等の外部組織に職員を出向、外部組織から人材を受入れ
- 特定の専門スキルをもつ副業人材を積極的に活用
- 民間企業や他の自治体と積極的に連携しレベルアップ

都市経営をしっかりと推進できる盤石な基盤づくり

- 未来への投資を確実に実行するための財務マネジメント
- 市有資産を経営的視点をもって整備・活用・リニューアル
- 都市経営を推進し改革を止めない組織体制の強化
- 職員のがんばりを高める人事給与制度を構築

デジタルを活かした改革

- AI / ロボットなど最先端技術を積極的に活用し地域課題解決・業務刷新
- “AI 副市長”（市長の意思決定を補佐する AI エージェント）を導入

前へ進む、豊中。～継続中の政策課題～

1 千里中央の再整備 ～豊中の都市ブランド 新しい“せんちゅう”を～

新型コロナや物価高騰の影響により、千里中央地区の再整備のスケジュールなどプランを変えざるを得ませんでした。“せんちゅう”は、北大阪エリアの拠点であり、豊中市にとって都市ブランドそのものです。多くの人を呼び込んでいくため、魅力的な都市機能を整備し、改めて全国から注目を浴びるまちをひらいていきます。

そこで、**民間投資を誘導**するための大胆なインセンティブを用意しました。これらの財源は、市民負担に求めるのではなく、千里中央再開発のなかで市の資産を有効活用することにより生み出します。

民間投資とあわせて行政としても千里中央駅周辺の千里東町公園や千里中央公園を都会のオアシスとして活かす大胆な公園リニューアルプロジェクトを実行します。

2032年度の再開発完了に向け、官民一体でプロジェクトを進めます。新たな“せんちゅう”には**EV自動運転バス**も運行させます。



“新・千里スタイル”の方向性イメージ

(出典：豊中市ホームページ)

民間投資を
促進する
インセンティブ

施設整備に最大**70億円**
商業・オフィスビルを立地 最大**20億円**(10年間総額)
ホテルを立地 最大**10億円**(10年間総額)

想定される
経済波及効果

整備段階 **4,900億円以上(4年間)** 雇用 **2万人以上**
整備後 **2,700億円以上(毎年)** 雇用 **1万人以上**

2 神崎川駅周辺エリアの整備 ～豊中の南の玄関口に～

神崎川駅周辺は、大規模再開発が進む新大阪駅・十三駅に近く、利便性等の観点から大きな潜在力をもつエリアです。

今、このエリアを豊中の南の玄関口にふさわしい都市拠点に生まれ変わらせるプロジェクトを進めようとしています。神崎川駅を河川の橋上に移設し、豊中市域に改札を設けるとともに、それに合わせ、周辺のまちづくりを進めようとするものです。これまで、大阪府・大阪市・鉄道事業者と協議を重ねてきました。

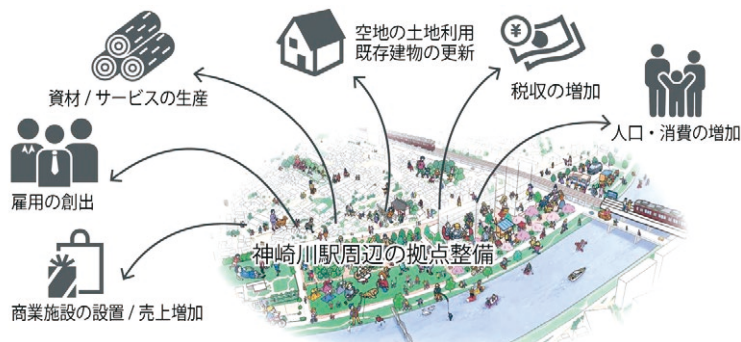
このプロジェクトでは、

- **賑わいづくり**：神崎川の水辺を活かした都市公園・商業施設の誘致、駅前広場の整備
- **新たな住環境づくり**：居住エリアの誘導、橋上駅化(豊中市域に改札)による駅までのアクセス性アップ
- **防災対策**：神崎川の鉄道橋梁の架け替え(橋脚が多い、橋げたが低いという課題を抱えています)

に**一体的に投資**をします。

このプロジェクトにより、**1,000億円以上の経済波及効果**(整備工事や商業施設の設置、土地利用の増進など)を見込んでいます。

整備後も**税収や雇用・経済の面で市全体に大きなメリット**をもたらせます。豊中の最南端から発展・成長の大きな波を起こします。



(出典：豊中市ホームページ)

3 中央図書館の整備

曽根駅前の民有地を中央図書館の建設候補地として選定し、取組みを進めてきました。

市民のみなさんに喜んでいただくことはもちろん、説明責任を果たすことができるかを常に判断基準に地権者側と協議を行ってきました。しかし、度重なる計画変更が示されるなかで、**市益を総合的に判断**し、当該民有地での整備を白紙としました。**苦渋の決断**でした。

曽根は文化・スポーツの拠点施設が集積するエリアです。また、豊中の新たな名所となった、豊中つばさ公園『ma-zika』と服部緑地公園との中心に位置するエリアです。

このエリアに中央図書館を整備することにより、エリアの特性との相乗効果で、たくさんの人を惹きつけ、呼び込み、豊中全体の魅力を向上させることができます。すでに第2候補地であった**豊島公園内での整備**について調査を開始しています。

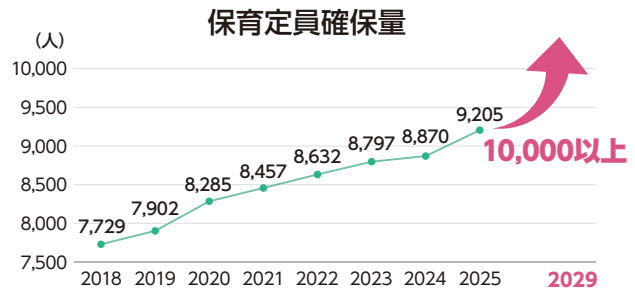
より上質な空間をめざし大改革を予定している**豊島公園×中央図書館の組み合わせ**による新たな憩い・潤いある価値を生み出していきます。



4 待機児童の解消

「子育てしやすさNo.1」プロジェクトを推進中です。妊娠時・出産時・小学校入学前の現金・ポイントの支給、朝7時からの小学校開門・見守り、こども園や学校との連絡のオンライン化、児童相談所の設置、小中学校の修学旅行費の無償化など子育て環境のレベルアップに取り組んできました。その結果、多くの子育て世代の方に豊中を住まいとして選んでいただいています。平成30年以來、5年間、待機児童ゼロを継続してきましたが、こども園入所のニーズにこども園の整備が追いつきませんでした。待機児童を生じさせたことを大変申し訳なく思っています。共働きが当たり前の時代。こども園入所は、子育て環境の1丁目1番地といえます。

令和7年度からの**4年間で45億円の整備費**をすでに予算化し、令和11年度までに**新たに1,000人以上**(令和7年4月比)定員を増やす取組みを現在進行中です。



5 市立豊中病院の経営 ～圏域第3の核となる病院へ～

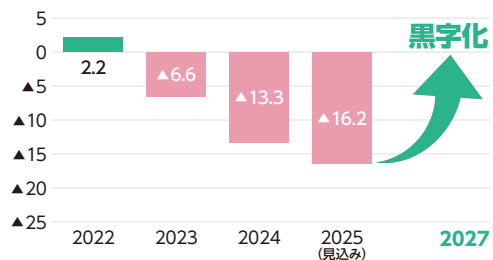
令和6年度決算で**13億3千万円の赤字**、令和7年度決算は**16億2千万円の赤字見込み**です。これは豊中市に限った状況ではなく、市立病院を運営する全国の中核市(豊中と類似団体)の約9割が赤字となっています。赤字の要因は、病院の収入である診療報酬の水準が現在の物価高騰に伴う費用増加にまったく見合っていないためです(R7赤字見込額のうち10億3千万円はこうした制度要因によるものです)。

経営を民間に任せてはとのご意見もあるかもしれませんが、しかし、民間病院(500床以上)の6割以上が赤字となっている今、経営の民間移行も万能とは言えません。

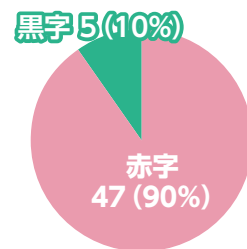
自治体病院はそもそも救急・災害医療、小児・周産期医療など不採算な政策的役割を担っています。市民のみなさんに安心の医療をすみずみまで届けるには、市民のみなさんの暮らしを支える**地域医療を絶対に守らなければならない**と思っています。

民間移行が有効な改革手法とはならない今、**強い覚悟で病院経営の大改革**を進めています。具体的には、高度な医療機能をもつDPC特定病院群への移行(診療単価の向上に伴い増収となります)、手術件数の増加、診療材料等の調達合理化、近隣病院との連携強化などを徹底的に進めます。そして、**令和9年度までに黒字化**します。そして、**阪大病院・国立循環器病研究センターに次ぐ、圏域第3の核となる病院**をめざします。

豊中病院の損益



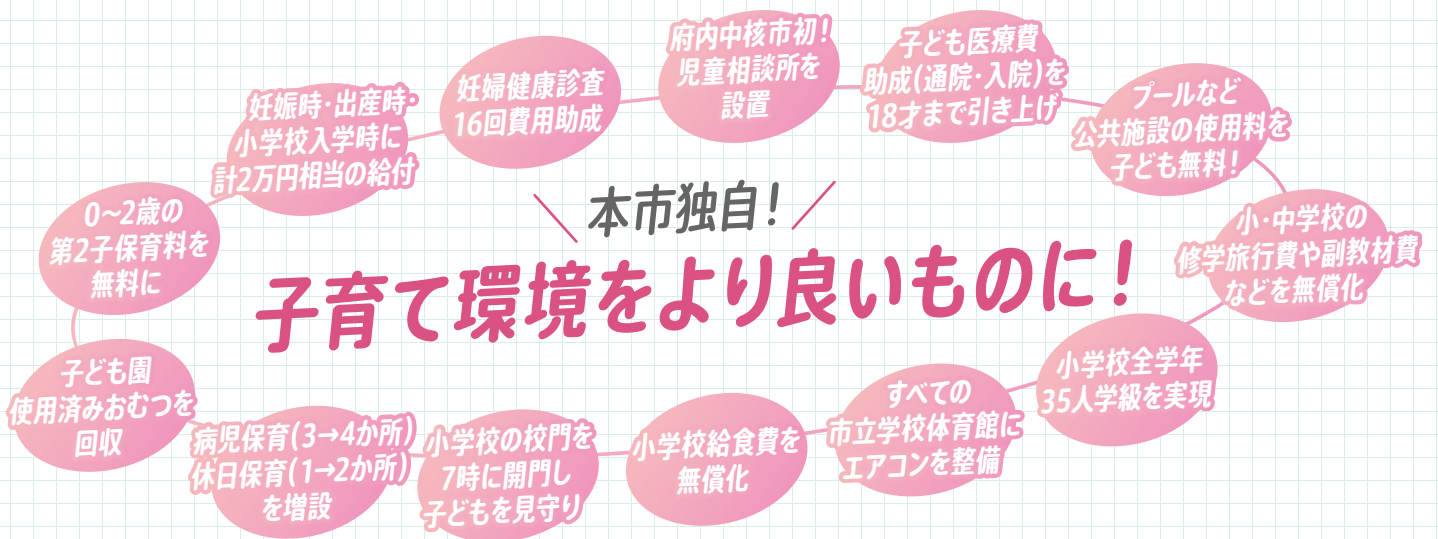
中核市の経営する病院 (52病院)



豊中市では、創る改革を基本理念に市政運営を行っていますが、改革の過程においても、課題も含め隠さず、市民のみなさんにお伝えすることが大切であると思っています。改革の成果をみなさんに実感いただくために、これらの課題は必ず実現させます。



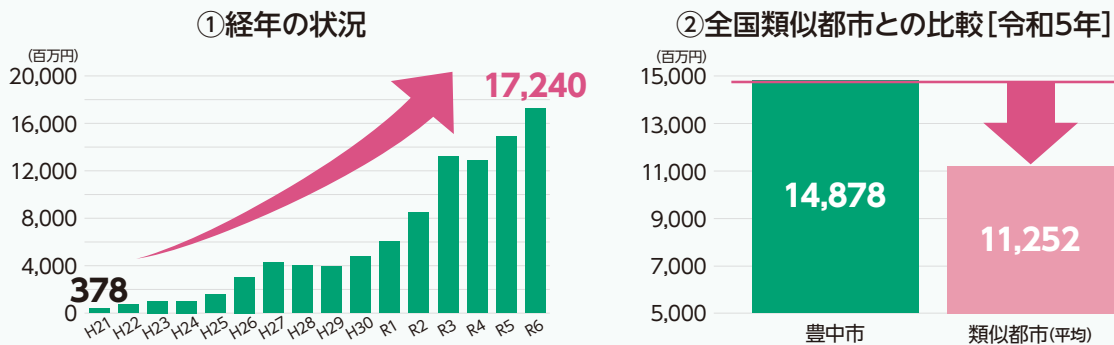
子育てしやすさNo.1をめざしています



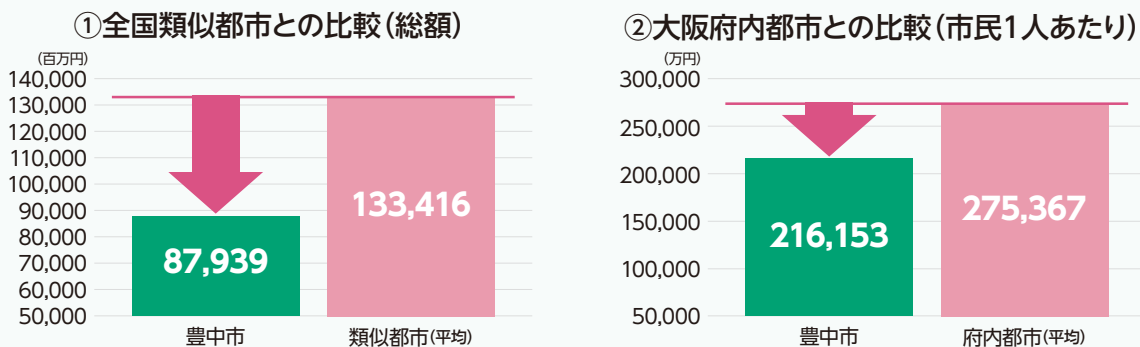
未来に責任ある財政運営

未来にツケを残さない。投資だけでなく、それを実行するための財政運営も未来に対する責任をもって進めています。いざというときにすばやく・柔軟に対応できるよう、貯金や借金をしっかりと管理しています。

財政調整基金(未来に向けた貯金)



地方債残高(借金)[令和5年]



※類似都市は、20万人以上の都市で法令により中核市の指定を受けている62の自治体。

これまでの主な取組み(実績)

未来への投資により変化する豊中

子ども・教育

学びの環境を充実

- 庄内さくら学園・庄内よつば学園開校
- 第8中校区で学園制(小中一貫型小中学校)導入【本市初】
- 小学校全学年で35人学級を実現
- すべての小学校で教科担任制を実現
- すべての学校体育館に空調整備
- すべての学校のトイレを洋式化(工事発注済)
- 市立学校の修学旅行費等を無償化【府内初】
- 小学5・6年生、中学生の放課後・土日における学習支援を全校区で実施
- すべての児童生徒のタブレットに「AIDドリル」を搭載
- すべての小学校にスクール・ソーシャル・ワーカーを配置

課題を抱える子ども・家庭をサポート

- 児童相談所を設置【政令市除く府内初】
- ひとり親家庭の養育費確保のための弁護士費用助成
- 訪問家事・育児支援サービスを大幅に拡充
- 高校生世代の子どもの引きこもりを未然防止するための居場所「できるカンパニー」を設置【府内初】

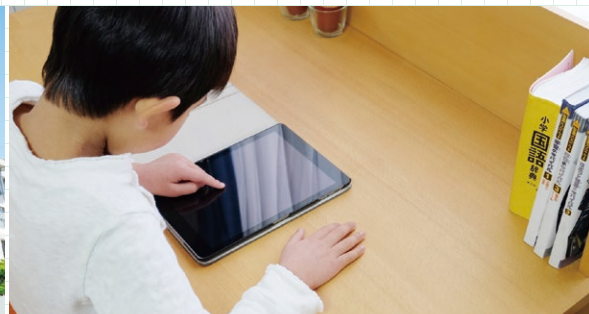
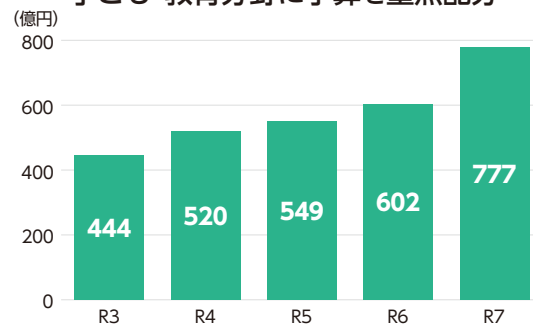
誰もが楽しく学べる環境づくり

- 蛍池図書館をリニューアル
- 豊中駅に図書サービスポイント新設
- 図書館書籍を24時間返却できるポスト設置
- 歴史文化拠点となる郷土資料館を新規オープン
- 「青少年交流文化館いぶぎ」を新規開所

子育て家庭を徹底サポート

- 小学校の開門を7時に繰り上げ【府内初】(始業までの間、支援員を配置し校内で見守り)
- こども園での使用済みおむつ回収
- 病児保育を3カ所→4カ所に増設
- 休日保育を1カ所→2カ所に増設
- 妊娠時・出生時・小学校入学時に合計2万円相当マチカネポイント付与
- すべての小学校で放課後の校庭開放
- 妊産婦の歯科健診を無償化
- 妊婦健康診査の助成回数・助成額を拡充
- 保育士確保のための応援金拡充(96万円/3年、市外居住でも12万ポイント)
- プールなどの公共施設における小学生の個人使用を無料化【府内トップレベル】
- 小学校給食費の無償化
- 小学校・中学校給食費の保護者負担を軽減(4年間総額:約10億円、令和7年度の軽減額見込み:小学生約13,000円/人・年、中学生約7,300円/人・年)
- 保護者と学校の連絡をオンライン化

子ども・教育分野に予算を重点配分



これまでの主な取組み(実績)

未来への投資により変化する豊中

まちづくり

魅力いっぱいの都市インフラ

- 南部地域の顔 庄内コラボセンターを開設
- 空港を活かした新たな魅力スポット 豊中つばさ公園『ma-zika』を新規オープン
- 服部天神駅前のシンボルとなる広場整備
- 官民連携により千里中央地区の再整備着手
- 神崎川駅周辺の再整備事業着手
- 乗合タクシー「みなのもつ」充実 (WEB予約システム導入)
- 千里中央公園のリニューアル(カフェの設置など)

エコなまちづくり

- グリーンランドの余熱で発電した電気を学校や市役所等で利用 (CO₂7,800トン/年を削減)
- 他自治体(4つ)とのカーボンオフセット (CO₂排出と吸収の均衡) 事業展開
- 航空会社と連携し家庭用食用油を回収し航空燃料に
- 民間企業と連携しEV自動運転バス走行を実証
- 鉄道事業者3社と連携しJ-クレジット創出【全国初】
- 近隣中核市と連携し太陽光発電設備の共同購入事業実施

災害に強いまちづくり

- 消防防災ドローンを導入、救急隊を増隊
- 簡易ベッド・トイレ・テントなどの防災備蓄を2倍に増強
- 災害時のトイレトラックを導入(契約済)
- 災害時の避難をデジタルにより支援(避難所受付システム・安否確認システム・マイタイムライン作成支援ツール)
- 災害対策をデジタルにより強化(被害情報収集システム・避難行動要支援者管理システムの導入など)
- 危険な密集市街地の解消に向け、建物除却費助成制度の補助率を100%に引き上げ(危険地区9→5に減少)
- すべての小中学校体育館においてトイレを洋式化・非常用発電設備(3日間稼働)を整備
- 見守りカメラを増設(1,262台から1,480台に)
- 有事に備え医療スタッフの事前登録制度を創設・運用



健康・共生

みんなのいきいきをサポート

- 骨髄バンクドナーへの助成制度を創設
- がんと闘う方へのウィッグや補整具購入の助成
- 認知症個人賠償責任保険の保険料を全額負担
- 高齢者を対象とした見守りシステムの導入
- 通学が困難な障害のある児童生徒の通学支援
- 介護人材の確保や定着に取り組む介護事業者の支援制度を創設(3か年で3億円)
- 認知症相談医の配置
- 豊中病院で無痛分娩を開始

さまざまな困難をサポート

- 若年がん患者の在宅療養支援
- 不妊治療の自己負担費用の助成
- ヤングケアラー専用相談窓口の設置
- 「しごと・くらしセンター」を設置
- 豊中病院にがんゲノム医療センター・患者サポートセンター開設



都市活力・魅力

いろいろな楽しみ・賑わいを

- 空港を活かした新たな魅力スポット 豊中つばさ公園『ma-zika』を新規オープン
- ローズ球場リニューアル・「高校野球発祥の地・豊中ミュージアム」を新設
- 未就学児向けコンサートを新規展開
- まちなかクラシック開催(様々な文化施設等で音楽を)
- 中央図書館を核とした新たな図書館体制の構築

ダイバーシティを推進

- 女性総合相談窓口の拡充
- 女性活躍推進事業者認証制度の創設(24者認証)
- 窓口が多言語通訳システムを導入
- パートナーシップ宣誓証明制度の創設

経済・産業・家計を応援

- 千里中央に都市格にふさわしい都市機能呼び込む助成制度創設(70億円)
- 民間投資(本社・ホテル・オフィス)を呼び込むための大胆な奨励金制度創設
- 金融機関・大学と連携したスタートアップ支援を展開
- マチカネポイントを活用した物価高・経済活性化対策(デジタル家計応援券発行、決済額の20%還元、チャージ額の5%還元、子育て応援ポイントなど)
- 市民生活を支える医療・介護・福祉施設への給付金支給
- お米券の配布(全世帯)
- 省エネ家電製品購入助成(購入額20%マチカネポイント付与)



変革

多様な連携で新たな価値創出

- 近隣5市で119番指令業務を共同運用
- 本市の水道配水場を吹田市と共同運用
- 千里中央公園に民間資金によりカフェ設置
- 企業・大学等と連携協定74件締結(4年間)
- 事業に共感を得た方からのご寄附・クラウドファンディング1,515件、約2,800万円(4年間)
- 外部人材の積極的登用(デジタル・広報分野など、副業9人、企業からの派遣受入12人、任期付採用5人)
- 若者のチャレンジを後押しする「#若者チャレンジらぼ!」を実施
- 企業版ふるさと納税の積極的活用(R7見込:45件、約1.3億円)



市民サービスの向上・政策推進を支える基盤の強化

- 市役所窓口での申請書記載の負担を軽減する「書かない窓口」を導入
- お一人おひとりの状況に応じた情報をオンライン上で個別にご案内するプッシュ型通知を実現
- 行政手続きのオンライン化100%
- 市税収入(R7見込み) 765億円【H30比11%UP、市政史上最高更新】
- 貯金(財政調整基金残高) 172億円(R6決算)
- 女性管理職比率25.5%(R7)
- 企業・省庁等への職員出向38人(4年間)





機関紙9号 2026年3月

発行元 未来のとよなかを創る市民連合(とよなか市民連合)

〒561-0802 豊中市曾根東町4丁目7番8号 Tel:070-4436-2752 Fax:06-7632-2895

代表:大谷 美文

SNS等は
こちらから▶

